

## 施設見学会

今回の施設見学会は、「水処理とメタン発酵システムを見学する全日コース」、「東海地域のリサイクルを見学する半日コース」、「自動車解体処理と最終処分場を見学する半日コース」の3コースをご用意いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日 : 9月14日(金)

申込方法 : 研究発表会専用ホームページからお申込みください。

申込締切 : 8月4日(金)

### 注意点

- ・ 同日のセッションプログラムを十分ご確認の上、お申込み下さい。
- ・ 参加者のご都合によりキャンセルされる場合は、参加費は返金いたしません。ただし、事前申込み入金後に、参加者の発表日時との重複により参加困難となった場合のみ返金いたします。(入金前であればマイページより変更が可能です。)
- ・ 第1、第2、第3コースの集合場所は「**豊田講堂前**」です(27ページ「会場案内図」参照)。全行程を貸切バスで移動します。
- ・ 道路状況等によっては、解散時間が遅れる場合もありますので、ご了承ください。
- ・ 傘等の雨具及びお飲み物等は必要に応じて各自ご持参ください
- ・ B、Cコースは昼食を準備しておりませんので、昼食をお済ませの上、ご参加ください。
- ・ 貸切バスは搭乗者保険に加入しておりますが、車外のケガには対応しておりません。

問合せ先 : 実行委員会 「施設見学について」と明記して次のアドレスまでお問い合わせください。

実行委員会事務局 大門 裕之 daimon@ens.tut.ac.jp

※ 開催期間中に緊急連絡事項がある場合は、受付横にて掲示、案内いたしますので、ご確認ください。

内 容	定 員	参加費
<p><b>第1コース【水処理とメタン発酵システム:中島処理場、豊川浄化センター】</b></p> <p>8:50 名古屋大学東山キャンパス「豊田講堂前」集合            9:00 名古屋大学東山キャンパス「豊田講堂前」出発            10:30~12:00 中島処理場 見学            12:00~12:30 (バス移動)            12:30~13:30 昼食(弁当) 豊川浄化センター会議室            13:30~15:00 豊川浄化センター 見学            15:40頃 JR豊橋駅 解散(希望者)            17:00頃 JR名古屋駅 解散(希望者)            17:40頃 名古屋大学 解散</p>	25名	7,000円 (昼食代込)
<p><b>第2コース【東海地域のリサイクル:中部リサイクル(株)、グリーンサイクル(株)】</b></p> <p>12:50 名古屋大学東山キャンパス「豊田講堂前」集合            13:00 名古屋大学東山キャンパス「豊田講堂前」出発            13:30~15:00 中部リサイクル(株) 見学            (バス移動)            15:30~16:30 グリーンサイクル(株) 見学            17:00頃 JR名古屋駅 解散(希望者)            17:40頃 名古屋大学 解散</p>	25名	3,000円
<p><b>Cコース【自動車解体処理と最終処分場:豊田メタル、豊田ケミカルエンジニアリング、ASEC(武豊)】</b></p> <p>12:30 名古屋大学東山キャンパス「豊田講堂前」集合            12:40 名古屋大学東山キャンパス「豊田講堂前」出発            13:35~15:45 豊田メタル(株)、豊田ケミカルエンジニアリング(株) 見学            (バス移動)            16:00~16:45 ASEC(武豊) 見学            17:40頃 JR名古屋駅 解散(希望者)            18:20頃 名古屋大学 解散</p>	25名	3,000円

## 第1コース 【水処理とメタン発酵システム：中島処理場、豊川浄化センター】

### [中島処理場]

豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業では、未利用バイオマス資源のエネルギー利用を行うため、PFI手法により国内最大規模のバイオガス化施設を整備し平成29年度秋に事業を開始しました。下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び生ごみを中島処理場に集約し、メタン発酵（中温）により再生可能エネルギーであるバイオガスを生成します。バイオガスは、ガス発電のエネルギーとして利活用します。また、発酵後に残った汚泥は、炭化燃料に加工してエネルギーとして利用します。事業実施効果としては、発生するメタンガスを発電利用（販売量：680万kWh/年、一般家庭約1,890世帯分の年間消費量に相当）・バイオマス資源を100%エネルギー化・温室効果ガスの削減・処理コストの削減があります。

### [豊川浄化センター]

愛知県が平成26年度から進めている豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業において、バイオガス利活用施設が完成し、平成29年2月から発電を開始しています。この施設（高温）は、下水汚泥から発生するバイオガスを発電に利用する施設であり、発電した電気は、固定価格買取制度により売電しています。既存の汚泥処理施設の改築とバイオマス利活用施設の新設及び20年間の運営・維持管理を行うPFI事業である。下水道事業において、汚泥処理施設の改築とバイオガス利活用施設の新設及び運営をパッケージにしたPFI手法は、全国初。平成29年度の年間発電量は、約382万kWh（一般家庭約1,060世帯分の年間消費量に相当）



中島処理場



豊川浄化センター

## 第2コース 【東海地域のリサイクル：中部リサイクル（株）、グリーンサイクル（株）】

### [中部リサイクル（株）]

廃棄物焼却施設で発生した焼却灰を原料として溶融処理により無害化し、石材やメタル等の有用材料に資源化する「都市鉱山開発企業」の「Zero Emission Factory」です。中部リサイクルは電気溶融炉及び併設する脱塩処理の技術を組み合わせて受入物の全てを資源化し、長年にわたる製錬技術を駆使して金・銀・銅などの有用な金属を含む溶融メタル、道路路盤材等に使用される溶融還元石、亜鉛・鉛を豊富に含む原料をそれぞれ製造して販売しています。工場内では溶融石材を用いた施工事例も見学します。合わせてリサイクル企業の（株）アビズ、及び（株）IHI環境エンジニアリングによる資源化事業の紹介を行います。

### [グリーンサイクル（株）]

家電メーカーの委託を受けてソニー株式会社の子会社として廃家電（テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機の4品目）とパソコン・OA機器のリサイクルを行っています。作業員による手解体と大型設備による破碎・選別により、ほぼ全てを資源として再利用すると共に、廃家電に使用されている有害な化学物質も確実に回収・適正に処理をしています。消費者や地域社会の皆様には、工場見学を通じて家電リサイクルの仕組みと正しいリサイクルについて理解を深めて頂く場を積極的に提供し、循環型社会の構築の一助となるよう努めています。



中部リサイクル (株)



グリーンサイクル (株)

**第3コース 【自動車解体処理と最終処分場：豊田メタル、豊田ケミカルエンジニアリング、ASEC (武豊)】**

**[豊田メタル (株)]**

豊田メタル (株) は、大型シュレッダーを 2 機保有している自動車リサイクル企業で、年間約 140,000 台の使用済み自動車を処理しています。破碎前処理された使用済み自動車を 2000 馬力シュレッダーで細かく破碎し、破碎物から鉄、非鉄金属や ASR を選別し、さらに ASR を選別することでサーマルリサイクルを含め 100%近い ASR リサイクル率を達成しています。また、製造工程、交換及びリサイクル解体工程で生じたエアバッグ類を通電式処理および加熱式処理で安全に再資源化しています。

**[豊田ケミカルエンジニアリング (株)]**

豊田ケミカルエンジニアリング (株) は、液状廃棄物をはじめとする多種多様な産業廃棄物の処理を行っています。液状廃棄物は減圧蒸留式濃縮設備で濃縮後、濃縮液炉へ噴霧して焼却します。医療系廃棄物などの箱物や固形廃棄物はロータリーキルンに投入して処理します。含油液状物は、加熱攪拌後静置して油と水に分離し、遠心分離機等で不純物を除去して燃料化します。ハイブリッド自動車搭載ニッケル水素電池リサイクル及び潤滑油の製造・再生も行っています。

**[(公財) 愛知臨海環境整備センター (ASEC)]**

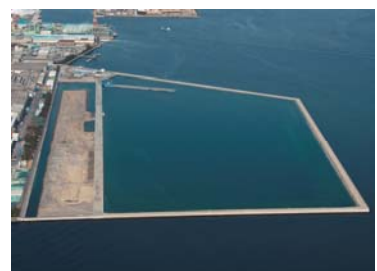
公益財団法人愛知臨海環境整備センター (略称：ASEC (アセック)) は、昭和 63 年に愛知県、名古屋市などの公共団体と民間企業の出資により設立された第三セクターの公益法人です。現在は、衣浦港 3 号地廃棄物最終処分場で海面埋立処分事業を行っており、廃棄物等を安全かつ適正に処分しています。埋立の規模は、埋立面積が 47.2ha、埋立容量が 496 万 m<sup>3</sup> (安定型区画：73 万 m<sup>3</sup>、管理型区画：423 万 m<sup>3</sup>) で、受入対象は、愛知県全域で発生する一般廃棄物及び産業廃棄物等です。なお、埋立後の土地は工業用地として利用される予定です。



豊田メタル(株)



豊田ケミカルエンジニアリング(株)



ASEC

**A、B、C コースの集合場所**

**【集合場所】** 名古屋大学東山キャンパス豊田講堂前 (27 ページ「会場案内図」参照)